

2026年5月20日
損害保険ジャパン株式会社

救援投手を称える新賞「損保ジャパン HIKESHI 賞」

セ・パ両リーグのランキングを公開

～4月終了時点のセ・リーグ1位はテイラー・ハーン投手(広島東洋カープ)、
パ・リーグ1位は玉井 大翔投手(北海道日本ハムファイターズ)～

損害保険ジャパン株式会社(代表取締役社長:石川 耕治、以下「損保ジャパン」)は、2026年レギュラーシーズンより設立した救援投手を表彰する新賞「損保ジャパン HIKESHI 賞(以下「HIKESHI 賞」)」の中間ランキングを5月20日に発表しました。本賞は一般社団法人日本野球機構(以下「NPB」)および損保ジャパンが考案した客観的指標(データスタジアム株式会社協力)に基づいて、シーズンを通じて、最もチームの危機を救った救援投手をセ・パ両リーグから1名ずつ、シーズン終了後に選出する表彰制度です。



1. 「損保ジャパン HIKESHI 賞」 中間ランキング(2026年5月17日時点)

2026年3月27日のレギュラーシーズン開幕より、各球団の救援投手たちが試合の危機的状況でマウンドに上がり、チームを救う見事な「火消し」を果たしています。開幕から約1か月(5月17日)までの成績に基づき、登板時のピンチの大きさと、それを凌いだ貢献度を数値化した「HIKESHI ポイント」の上位5名をセ・パ両リーグからそれぞれ発表いたします。

【セントラル・リーグ】

1位: テイラー・ハーン投手(広島東洋カープ)	／32ポイント
2位: 塹江 敦哉投手(広島東洋カープ)	／27ポイント
3位: 大勢投手(読売ジャイアンツ)	／26ポイント
4位: 田和 廉投手(読売ジャイアンツ)	／23ポイント
5位: 高 太一投手(広島東洋カープ)	／19ポイント

【パシフィック・リーグ】

1位: 八木 彬投手(千葉ロッテマリーンズ)	／37ポイント
2位: 木村 光投手(福岡ソフトバンクホークス)	／22ポイント
3位: 黒田 将矢投手(埼玉西武ライオンズ)	／22ポイント
4位: 柴田 大地投手(東北楽天ゴールデンイーグルス)	／21ポイント
5位: 田中 正義投手(北海道日本ハムファイターズ)	／21ポイント

※「HIKESHI ポイント」の内訳は、「損保ジャパン HIKESHI 賞」特設ページをご確認ください。

https://www.sompo-japan.co.jp/company/initiatives/hikeshi_award/

【ピックアップ】 3～4月トップ、ハーン投手・玉井投手の「火消し」を振り返る

セントラル・リーグ

テイラー・ハーン投手（広島東洋カープ）／23ポイント（4月終了時点）

ハーン投手は、4月7日に行われた読売ジャイアンツ1回戦、3点リードの7回表、一死一、二塁と本塁打が出れば同点というピンチの場面での登板でしたが、後続をショートフライ、三振に仕留め、無失点で切り抜ける完璧な救援を見せました。マウンドに上がったハーン投手は、前任投手が残した二人の走者を背負いながらも（※A:加算ポイント対象）、冷静なマウンドさばきで相手打線を翻弄。「火消し」の名にふさわしい見事な投球を披露しました。この登板でハーン投手は、安打も四死球も許さず（※B:減点なし）、失点ゼロ（※C:減点なし）に抑えたことで、計8点という高いHIKESHIポイントを獲得しました。

<主なHIKESHIポイント獲得試合>

対中日戦（3月28日）：3点

対巨人戦（4月7日）：8点



写真提供：ベースボール・マガジン社

パシフィック・リーグ

玉井 大翔投手（北海道日本ハムファイターズ）／31ポイント（4月終了時点）

玉井投手は、4月9日に行われた東北楽天ゴールデンイーグルス3回戦、3点リードの6回裏、無死満塁という一打逆転のピンチで登板。まず、最初の打者をサードゴロに打ち取り、一死満塁。続く打者をショートゴロ併殺打に打ち取り、見事に無失点で切り抜ける圧巻の救援を見せました。試合が動く重要な局面で、無死満塁の大ピンチでマウンドに上がった玉井投手は、前任投手が残した三人の走者を背負いながらも（※A:加算ポイント対象）、動じることのないマウンドさばきを披露。まさに「火消し」の名にふさわしい、チームを救う危機回避を見せました。この登板で玉井投手は、安打も四死球も許さず（※B:減点なし）、失点ゼロ（※C:減点なし）に抑えたことで、計21点のHIKESHIポイントを獲得しました。

<主なHIKESHIポイント獲得試合>

対楽天戦（4月9日）：21点

対西武戦（4月28日）：8点



写真提供：ベースボール・マガジン社

2. 今後のランキング発表について

今後のランキングについては、損保ジャパン公式ウェブサイト上の「損保ジャパン HIKESHI 賞」特設ページならびに、損保ジャパン公式 X・Instagram にて、毎週火曜日（祝日の場合は、翌営業日以降）「セ・パ両リーグ上位5名」と「球団別上位3名」の最新ランキングを発表していきます。シーズン終了まで続く「HIKESHI 賞」のランキング争いをぜひご覧ください。

- ・特設ページ : https://www.sompo-japan.co.jp/company/initiatives/hikeshi_award/
- ・公式 X : https://x.com/SOMPO_JP
- ・公式 Instagram : https://www.instagram.com/sompo_japan_official/

3. HIKESHI 賞について

損保ジャパンは、1888年（明治21年）に日本初の火災保険会社である「東京火災保険会社」として創業しました。「人々の暮らしを罹災からお守りしたい」という強い使命感のもと、保険会社でありながら、警視庁認可の私設消防団「東京火災消防組」を結成し、自ら「火消し」として地域を守ってきた歴史があります。

こうした火消しをルーツに持つ損保ジャパンは、1981年から22年間にわたり、「火消し役」と呼ばれる救援投手を「ファイアマン賞」※¹として表彰していました。

今回、現代のプロ野球にふさわしい形へアップデートした「HIKESHI 賞」を設立したことで、SNS等で野球ファンの皆さまより熱い反響をいただいております。

シーズンが開幕し、今後は激しい優勝争いが予想されますが、引き続きチームや仲間を守り抜く救援投手の活躍を応援し、野球の新たな魅力をファンの皆さまとともにお伝えしていきます。

なお、「HIKESHI 賞」は、「HIKESHI DNA 2030 Project」※²の一環として実施します。

※1 1981年から2002年まで、当時の安田火災海上保険（現・損保ジャパン）が協賛していた救援投手の表彰制度。

※2 ニュースリリース「[HIKESHI DNA 2030 Project 始動](#)」

HIKESHI 賞概要

- 対象 : 救援投手（先発投手以外）
- 開始時期 : 2026年3月27日のレギュラーシーズン開幕より
- 選考基準 : セ・パ公式戦の成績、日本野球機構および損保ジャパンが考案した客観的指標（データスタジアム株式会社協力）に基づく
- 評価指標 : ファイアマン賞で採用していた「勝利・セーブ数」などの指標とは異なり、登板時の走者状況といった「マウンド上の危機の大きさ」を反映。ピンチを凌いだことによる失点阻止の貢献度を数値化し、「チームのピンチをいかに食い止めたか」を定量的に評価します
- 計算式 : $HIKESHI \text{ ポイント} = (A) - (B) - (C)$
- (A) 走者状況に応じて重みづけされた獲得アウト価値
1アウト獲得につき1ポイント、さらに前任投手が残した走者がいる場合は加算あり。
一塁に走者がいれば1ポイント、二塁は2ポイント、三塁は3ポイントが加算される。
※前任投手が残した走者のみ対象とする（自身が出塁させた走者は対象外）
- (B) $2 \times$ 自身が出塁させた走者の数
※併殺崩れで走者入れ替わりによる打者走者の出塁は含まない
- (C) $4 \times$ 登板中に許した得点
※前任投手が残した走者の得点を含む
- ・ 救援投手（先発投手以外）を対象とする。
 - ・ ダブルプレー（トリプルプレー）発生時は、アウトを2回（3回）獲得したものとして扱う
 - ・ 複数の投手が同ポイントで並んだ場合は、下記の成績にしたがって表彰者を決定する
 - (A) の数が多い順
 - (B) の数が少ない順
 - (C) の数が少ない順
- 賞金 : セ・パ両リーグ1名ずつ各100万円
- 発表・表彰 : シーズン終了後（11月頃に実施予定）
- 特別賞 : 損保ジャパン HIKESHI 賞・特別賞選考委員会による候補者選出後、ファン投票によりセ・パ両リーグ1名ずつを決定。
※詳細は今後告知予定。



HIKESHI DNA 2030 Project

「HIKESHI DNA 2030 Project」は、当社の原点である「火消しの精神」を今に受け継ぎ、地域と連携して「災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現」を目指すプロジェクトです。

【本件に関するお問い合わせ先】

「損保ジャパン HIKESHI 賞」PR 事務局（株式会社アンティル内） 担当：塚本、伊藤、鋤崎、渡邊
TEL : 03-6821-7863 FAX : 03-4335-8385 MAIL : sompo_2026@vector.inc.co.jp

以上